



## ～ご卒業おめでとうございます～

3月19日、令和7年度卒業証書授与式を挙行いたしました。

5名の卒業生が、本日、広戸小学校を巣立っていきました。学校のリーダーとして、みんなを良い方向へしっかりと引っ張っていった素晴らしい6年生でした。卒業生の旅立ちには寂しい面もありますが、積み重ねてきた伝統を引き継いで、これからもみんなで力を合わせてがんばっていきます。

卒業式では、はなむけとして、教育学者である東井義雄先生の言葉を贈りました。

自分は 自分の主人公

世界でただひとりの 自分をつくっていく 責任者

一人ひとりに、長所や、自分ならではの良い持ち味がある卒業生のみなさん。これからの長い人生で多くの出会いがあり、様々な事を経験することでしょう。他者と協働しながらも、自分は、自分の人生の主人公として、夢や意志をしっかりと持ちながら歩んでほしいと思います。また、多くのことを吸収しながら、より素敵な自分を創り上げてほしいと思います。みなさんの未来が輝けるものとなり、幸せな人生となることを心から願っています。そして、いつまでも、応援しています。

6年生は明日から、1～5年生は26日から春休みです。進学、進級の準備をする大事な期間です。事故にあわないように、また、健康や生活リズムにも気をつけて過ごしてください。

今年度も、保護者の皆様・地域の皆様には、本校の教育活動に本当に多くのご支援をありがとうございました。4月からは、また新しい年度が始まりますが、引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。



卒業式練習の様子



「6年生を送る会」より

## 【新委員会活動 スタート！】

来年度へ向けて新委員会活動（４・５年生）がスタートしています。最初は「お試し期間」で、６年生がやり方を教えたり、うまくできているか見守ったりしていましたが、だんだん慣れてうまくなりました。

来年度の高学年が、学校生活をよりよくするためにがんばっている姿に感心しています。



## 【文書配布について】

R8年度からの「きずな」の配布先や枚数の変更がある地区がありましたら、学校までお知らせください。（教頭 保田までお願いします）

## 【詩の掲載について】

今まで、子ども達の詩を津山朝日新聞に掲載させていただいていましたが、今年度末で終わりとなります。ご了承ください。

## 【学校運営協議会(コミュニティ・スクール)】

令和6年度からスタートした学校運営協議会制度が、3月末で2年が終わろうとしています。今年度は、学校運営協議会のメンバーを中心とした「広戸小学校体制整備検討委員会」での話し合いも多く行われました。

今年度最終の会を、2月27日に開催しました。一年間を振り返るとともに、「学校教育目標『みんなが輝く 広戸っ子』（継続）」「小規模校のメリットを最大限活かしていく」等、来年度の学校の方針を承認していただきました。年間を通しての広戸小学校へのご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。

## 【広戸小豆知識 最終回 広戸小学校の原点 致志小学 跡地】

学習発表会の準備を6年生がする中で、10月の終わりに「『広戸小学校跡地』へ行ってみよう！」ということになりました。跡地は小学校のすぐ近くにあり、歩いて行くことができます。敷地内に「致志小学校沿革」という石碑がありました。（創立時の正式名は「致志小学」とのことです。）その内容を記してこのコラムの最終回としたいと思います。

— 致志小学校 沿革 —

明治8年4月15日市場大岩大吉と今の奈義町上町川を学区として広戸市場当地の演劇場を仮校舎とし致志小学校の名称のもと秋元清忠先生を初代校長として迎え開校された。当時は通学路も未整備教材教具の不足等悪条件の中でも向学心に燃え困苦欠乏に耐えながら心豊かな心情を育てたのである。以来明治36年広戸尋常小学校と改名移転まで28年間に亘る致志小学校の歴史が刻まれ更に広戸小学校の現在まで110年が経過した。私たちは先学先人の勉学のありさまを想起し広戸教育発祥の昔を偲びながら建学の精神を後世に伝えたいと思う。

昭和60年4月15日

改めて、広戸小学校の歴史と伝統の重みを感じました。卒業生5人で記念撮影をして帰りました。思い出に残る見学になりました。

